



2004年6月30日 4:00pm
三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出までのタイムスケジュール(1/2)

■	早まる
■	遅れる

 リコール
(1/2)

No.	項目	技術的問題の明確化	予想される届出時期
1	クラッチハウジング破損	完了	届け出済み
2	大型トラックプロペラシャフト破損	9月中旬	精査中
3	バス プロペラシャフト破損	完了	届け出済み
4	駐車ブレーキスプリング破損	7月末	10月末
5	フロントサスペンションボールジョイント磨耗	10月末	精査中
6	タイロッドボールジョイント磨耗	完了	7月中旬
7	燃料タンクブラケット破損	完了	届け出済み
8	駐車ブレーキケーブル破損	7月中旬	精査中
9	パワーステアリングサーキュレータ破損	完了	精査中
10	デッドアクスルハブベアリング焼付き	6月末	精査中
11	フロント独懸用アームシャフト	完了	精査中
12	T/M ニードルベアリング焼き付き	完了	6月末
13	キャブチルト警告灯不良	7月中旬	精査中
14	キャブフックかかり不良	7月中旬	精査中
15	リアリーフスプリングのハンガーブラケットからの脱落	7月中旬	10月末
16	リアアクセルチューブ破損	(6月末) 精査中	精査中
17	非常ドアの開放	7月上旬	精査中
18	ABS/EZGO ハイドロユニット不具合	完了	精査中
19	スプリングブレーキエアチェンバーブラケット破損	7月末	10月末
20	スプリングブレーキチェンバーへの水侵入	完了	10月末
21	ホイールパークウェッジ破損	6月末	8月末
22	ホイールパークウェッジ破損	完了	7月末
23	ハイドロリックブースタへのエアの混入	6月末	9月末
24	プロペラシャフト脱落	9月中旬	精査中

現在、「技術的問題の明確化」に全力を上げており、スケジュールは前週に比べ、全体の約半分の22件を早めました。精査中であった7案件のうち、5件は技術的問題をクリア明確にし、届出等の準備を開始しました。

届出までのタイムスケジュール(2/2)

■	早まる
■	遅れる

 リコール
(2/2)

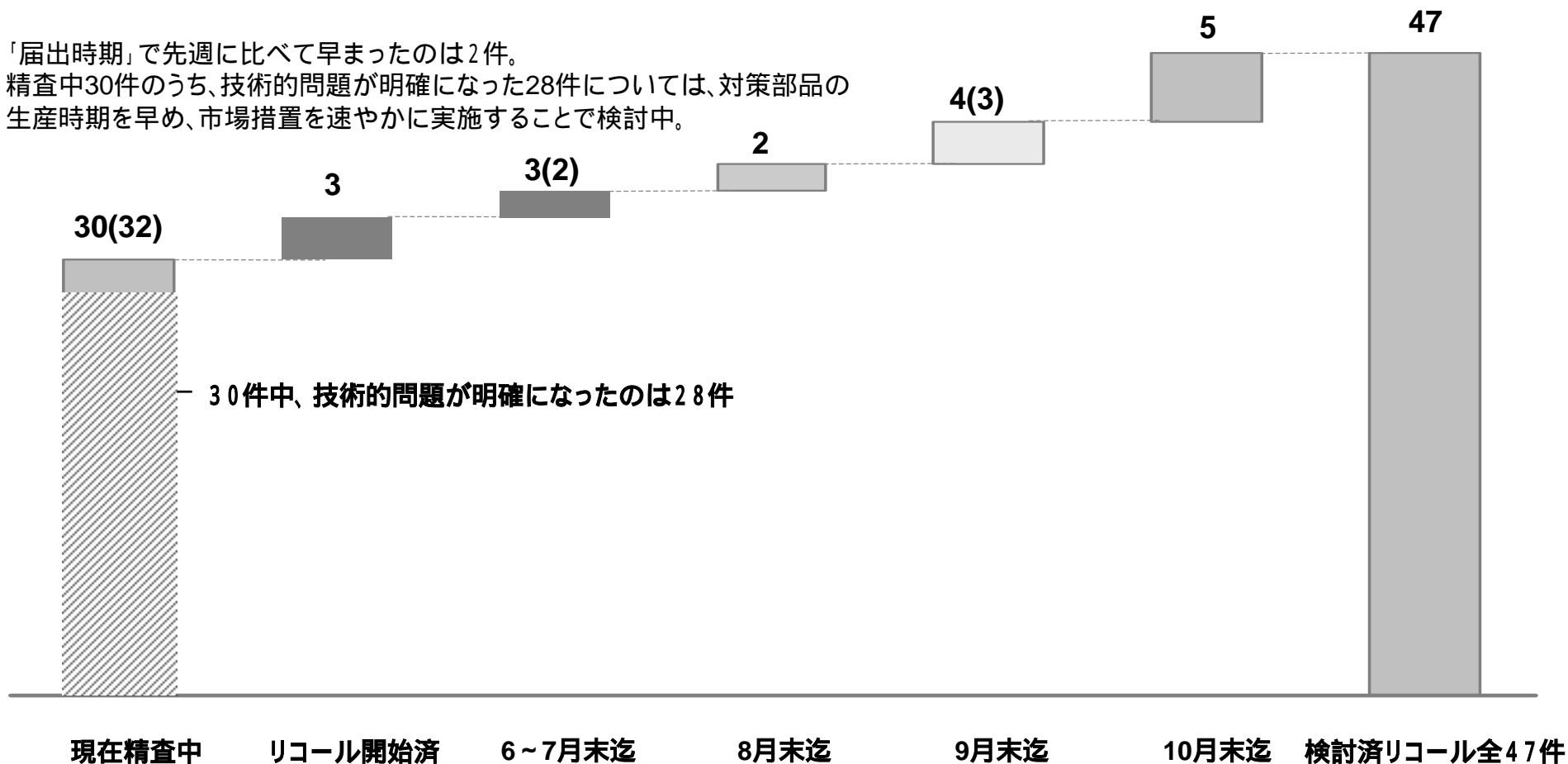
No.	項目	技術的問題の明確化	予想される届出時期
25	チェーントランスファオイル洩れ	(8月末)9月末	10月末
26	フライホイールリングギアの磨耗と破損	8月末	精査中
27	フロントハブベアリングへの水侵入	6月末	9月中旬
28	フロントハブベアリング焼き付き	7月中旬	精査中
29	フロントハブベアリング焼き付き	7月中旬	精査中
30	ハブ破損(ベアリング破損による)	7月中旬	精査中
31	AT オイルホース破損	7月中旬	9月末
32	インジェクションポンプの破損	7月中旬	精査中
33	キャブ電源ハーネスの損傷	7月末	精査中
34	燃料パイプクランプの脱落	7月中旬	精査中
35	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	8月中旬	精査中
36	TC エンジンリアマウント破損	8月末	精査中
37	A/T油温上昇	7月中旬	精査中
38	アクスルシャフト破損	完了	8月末
39	ナックルアーム破損	完了	精査中
40	キャブハーネス不具合によるスタータ焼損	7月末	精査中
41	ナックルアームボールスタッド破損	完了	精査中
42	排気パイプ亀裂	8月末	精査中
43	T-ドライブシステム脱落	精査中	精査中

改善対策

1	AT車のPレンジ不良	7月末	精査中
2	荷物扉開放	6月末	精査中
3	急ブレーキ時に非常扉シート倒れ	6月末	精査中
4	T/M シフトワイヤ破損	完了	9月末

市場措置提出予定日

「届出時期」で先週に比べて早まったのは2件。
 精査中30件のうち、技術的問題が明確になった28件については、対策部品の
 生産時期を早め、市場措置を速やかに実施することで検討中。



(注) ()内の数字は前回会見発表時の数字。

届出済の市場措置項目及び実施状況

1. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

04年6月25日現在

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	实在登録台数 (04年5月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施台数・率(%)	実施台数	実施台数・率(%)
1	大型トラック クラッチハウジング不具合対策リコ-ル (04年5月26日・1092)	168,002 ('83年6月2日~'99年4月27日)	74,506	8,385 (81)	11.3% (0.1%)	0	0%
2	キャンタ-(ル-トバン仕様車)燃料タンク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1083)	418 ('97年2月28日~'02年5月31日)	395	—	—	23 (0)	5.8% (0%)
3	MS8流体式リタ-ダ装着車プロペラシャフトエンドヨ-ク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1111)	266 ('91年12月21日~'02年4月10日)	264	—	—	13 (0)	4.9% (0%)

2. 47案件以外の届出項目の実施状況(6月14日記者会見以降届出項目)

04年6月25日現在

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	实在登録台数 (04年5月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施台数・率(%)	実施台数	実施台数・率(%)
1	大型バス リヤブレ-キホ-ス不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1110)	620 ('00年6月28日~'02年3月7日)	607	—	—	109 (0)	18.0% (0%)

()内数値は 6月23日記者会見時公表の数値を示す。

3. 大型トラック・バス ハブ関係の実施状況 詳細は次頁参照

04年6月26日現在

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	实在登録台数 (04年5月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施台数・率(%)	実施台数	実施台数・率(%)
1	大型トラック・バス フロントハブ不具合暫定対策リコ-ル (04年3月24日・1056) , (04年4月22日・1076)	217,407 ('83年7月11日~'03年2月3日)	105,894	49,087 (47,265)	46.4% (44.2%)	—	—
2	大型トラック・バス リヤハブ不具合暫定対策リコ-ル (04年4月15日・1072)	21,769 ('89年8月31日~'92年11月6日)	10,314	1,679 (1459)	16.3% (14.0)	—	—

(注)恒久措置:恒久措置予定の暫定対策ハブの強度検証中

大型トラック・バス フロントハブリコール進捗状況(平成16年6月26日現在)

機種	ハブ種類	生産台数	登録残存台数 (04年5月末時)	暫定対策ハブ 交換	暫定対策ハブ 装着確認	点検のみ	合計 = + +	実施率 /
トラクタ、ダンプ、カーゴ 観光バス (FN,FP,FU,FV,MS,MU系)	B~E (自主対策対象)	126,543	72,496	411	30,484	4,542	35,437	48.9% (46.9%)
トラック、バス (FN,FP,FU,FT,FV,K, MM,MP,MS,MU系)	A (追加届出)	46,271	7,298	0	-	2,243	2,243	30.7% (29.2%)
路線バス、一部観光バス クレーン車、前2軸車 (FT,K,MM,MP系)	B~E (追加届出)	28,724	16,465	5,775	597	2,029	8,401	51.0% (48.3%)
低床4軸車 (FS系)	F6,F4 (追加届出)	14,595	8,554	0	-	2,745	2,745	32.1% (30.1%)
総輪駆動車、除雪車 (FR,FW系)	F65W (追加届出)	1,274	1,081	36	-	225	261	24.1% (21.2%)
合計		217,407	105,894	6,222	31,081	11,784	49,087	46.4% (44.2%)

()内数値は、6月23日記者会見時公表の数値を示す。

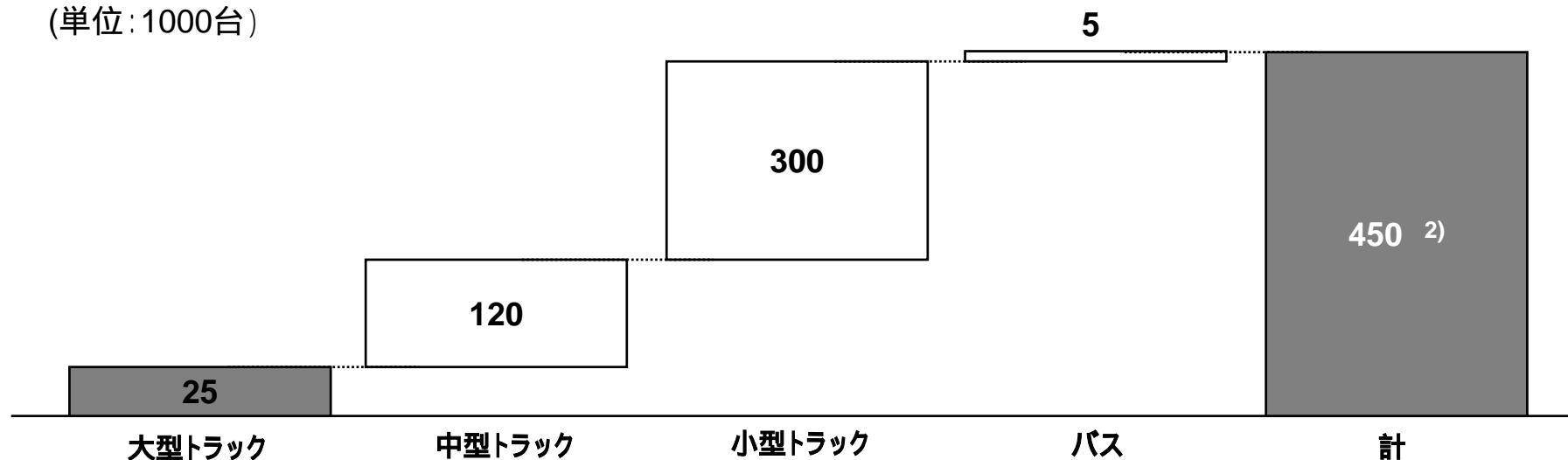
大型トラック・バス リヤハブリコール進捗状況(平成16年6月26日現在)

機種	生産台数	登録残存台数 (04年5月末時)	暫定対策	点検のみ	合計 = +	実施率 /
トラック、クレーン車	19,934	8,796	325	1,022	1,347	15.3% (13.0%)
バス	1,835	1,518	63	269	332	21.9% (20.0%)
合計	21,769	10,314	388	1,291	1,679	16.3% (14.0%)

市場措置の対象車両台数の予想 ¹⁾

6月14日に発表した市場措置対象台数予測の整理。
尚、届出時点で台数が明確化します。

(単位:1000台)



注: ¹⁾ 国内市場における登録台数

²⁾ 45万台は6月14日発表の47件の内、既にリコール届出は完了した3件を除く44件の対象台数です。

1. 5月20日届出、クラッチハウジング: 約75,000台

2. 6月15日届出、大型バスプロペラシャフト: 約260台

3. 6月15日届出、キャンター燃料タンク: 約400台

6/14以降の事故案件について

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
14日11時	香川県坂出市 瀬戸中央自動車道	F K515J 87年12月登録	済	瀬戸中央自動車道走行中、左側壁に衝突し弾みで中央分離帯へ衝突、更に左側壁に衝突しながら200m走行して停止。 ・ステアリング系は引っかかり、渋りなく作動はスムーズであり、正常と判断。 ・ブレーキ系も作動テストにて異常なく、したがって、車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー-死亡 同乗者骨折	調査結果から関連性は認められません。	該当無し
15日20時	中央道 長野県座光寺PA	FU517TX 00年4月登録	済	中央自動車道下り走行中、松川IC先下り坂でブレーキを使用したところ、ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴。デッド軸左側の内側の部分から出火 ・デッド軸左側のみベアリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 ・他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 ・デッド軸ハブベアリング焼き付のリコールに該当する可能性有り。	なし	47案件 (No.10) に該当	電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み)
18日02時	愛媛県伊予市	FU416U 90年5月登録	済	左前輪付近から出火、キャブ全焼。 ・フロント及びデッド軸のブレーキ引きずりが発生。引きずりの原因は現在調査中。 ・エアマスタ作動テストの結果、作動は正常。 ・ブレーキフルードから分析及び詳細調査の予定。鉱物油と思われる成分および黒い沈殿物を抽出。分析及び調査の予定。	なし	調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2002年7月Fハブ交換済) リアハブ04年5月24日車検時、亀裂点検済み(亀裂なし) リアハブは未交換。
18日04時	広島県安佐南区 山陽自動車道	(追突車) FU410TZ 95年7月登録 (被追突車) FU410U 93年9月登録	済	前車に衝突し、運転手社外投げ出され死亡。事故後衝突車は約2キロ 無人のまま走行し、横転して停車。 ・現車は追突の衝撃によりアクセルペダルが引っ掛かった状態のままとなったため、衝突後もそのまま走行したものと推定。 ・エンジンECUと電気回路は損傷なし。車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー-死亡	調査結果から関連性は認められません。	被追突車はフロントハブリコール対象 デッド軸ハブベアリング緊急点検対象
21日04時	愛知県豊橋市	FP411D 94年9月登録	済	中央分離帯を乗り越え、対向車線を横切り、ガードレールを突き破り道路外の用水路に転落。 ・クラッチハウジングについても亀裂なく、プロペラシャフトも破損なし。 ・ハブ破損なく、問題なし。車両として正常であると推定。	ドライバー-死亡	調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年2月Fハブ交換済) クラッチハウジングリコール対象
21日22時	佐賀県神埼町 長崎自動車道 東そのぎインター 手前バス停	FU410U 96年3月登録	済	ドライブ軸左内側、右内側から発火し、消防により消火。 ・フロントハブ異常なし。ドライブ軸ハブベアリング正常、ブレーキのひきずりなく、ブレーキは正常。 ・左ドライブ軸のインナタイヤのワイヤが露出し、タイヤバーストしたと思われる痕跡有り。 ・タイヤバーストによりウイング用オイル配管を破損させ、漏れたオイルに引火したものと推定。	なし	調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年5月Fハブ交換済)
23日22時	福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道	FU410TZ改 95年9月登録	済	走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・デッド軸右輪のアウトベアリング焼き付き破損。目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキライニング下側焼け大(後軸芯ずれのため)。他のリヤ3輪とも、ベアリングロックナットに緩み有り。 ・4輪のハブベアリング、グリスを調査予定。	なし	関連性については精査中	デッド軸ハブベアリング緊急点検対象
23日10時	千葉県野田市 県道7号線	FE50EB 00年12月登録	調査中 (6/30日)	前方車両が急停止したため、ブレーキを踏んだが止まらず、踏み直したが停車できず、追突。	なし	関連性不明	ABSプログラム 改善対策対象車
24日10時	和歌山県 阪和道 御坊～南部	FE435E 93年9月登録	未 (7/5日)	走行中エンジン吹きが悪くなり、3km走行後非常駐車帯に停車して状況確認したところセルモータ付近の配線から発煙。若干焦げた程度。	なし	関連性不明	該当無し

注：各事故について、現在警察において調査中と認識しておりますが、捜査当局からの調査内容の開示はありません。